

中学校でいじめ撲滅集会 小学校では仲間づくり交流会も

妹背牛中学校は11月25日、同校体育館で「いじめ撲滅集会」を開き、1～3年生の生徒たちがコミュニケーションを育む大切さを学びました。

アイスブレイクのゲームや生徒会レクで緊張を解した生徒たちは、10グループに分かれて意見交流。「コミュニケーションを大切にみんなと仲良くする」「自分のことだけではなく、他人の気持ちを考える」などと、いじめ撲滅に向けた考えをまとめ、各グループの代表者が発表しました。



いじめ撲滅に向けて意見を交わす生徒たち

一方、妹背牛小学校では12月14日に「仲間づくり小中交流会」が開かれ、児童会と生徒会の役員計10人が出席。お互いに尊重し合い、仲間を大切にする、小学校それぞれの取り組みについて報告しました。

いじめ撲滅ポスターコンクールの入賞者が紹介された後、生徒会メンバーがスローガンを発表。「BIG SMILE 手をとって仲良くする」には「みんなの手を取り合って仲良くすれば大きな笑顔が生まれる」との思いを込めました。



いじめ撲滅の取り組みやスローガンが発表された仲間づくり交流会

わかち愛町民福祉フォーラム



グループワークで町が抱える課題を発表したフォーラム

妹背牛町社会福祉協議会は11月27日、町民会館で「わかち愛町民福祉フォーラム」を開き、グループワークに参加した町民40人が地域福祉の課題について話し合いました。

同協議会は、20～80代の21人を策定委員として委嘱。「居場所づくり」や「町内会との関わり」など、テーマごとに提案されたこの日の意見を参考に、第3期地域福祉実践計画（2023～27年度）を本年度中に策定します。

出産写真「ありがとう」上映会



母子の愛情を伝えたスライド作品「ありがとう」の上映会

数々のお産に立ち会った写真家・宝肖和美さんが撮影した出産写真のスライド作品「ありがとう」の上映会が11月21日、子育て世代交流施設「from☆Moko」で開かれました。

モノクロのスチール写真で映し出される映像は、出産の感動や命の大切さ、母子の愛情を伝えた内容。「産まれてきてくれてありがとう」とのメッセージが込められており、写真撮影に協力した助産師の高槻友子さんから作品の説明もありました。

設立 20 周年の幸鐘会が寄付



田中一典町長に寄付金を手渡す米坂理事長（左）

グループホーム「べにばら妹背牛」を運営する社会福祉法人「幸鐘会」（米坂京子理事長、秩父別）は11月25日、町に50万円、社会福祉協議会に20万円をそれぞれ寄付しました。

同法人は2002年にNPO法人として設立した後、07年に社会福祉法人に移行。

設立20周年を迎えたことから、米坂理事長は「お世話になった町の活性化にお役立てください」と話し、今回の寄付に至りました。

梅田君が最優秀賞 絆づくり



表彰状を手に受賞を喜ぶ梅田君（前列右）と山田君（同左）

令和4年度の「絆づくりメッセージコンクール」で、妹背牛小3年生の梅田悠馬君が最優秀賞、4年生の山田進士郎君が奨励賞にそれぞれ輝きました。

同コンクールは、児童・生徒の思いやりを育むことが目的。空知管内の「ポスター・メッセージ」小学校の部には、85点が寄せられました。

梅田君は「みんなで作ろうこの笑顔」のメッセージを添え、山田君は「なかよくしよう」をテーマに描きました。

写真も郷土も新鮮な視点で



生徒たちが撮影した校舎内の写真を講評する吉里さん

上川管内東川町文化ギャラリーの学芸員を務める吉里演子さんを講師に招いた道徳の授業が12月9日、妹背牛中学校体育館で開かれ、生徒たちが校舎内の写真を撮影しながら学校の良さを改めて認識しました。

道教委の「こどもの心に響く道徳教育推進事業」の一環。

吉里さんは、「見慣れた場所を新鮮な景色に変えてくれます」と写真の魅力を紹介。生徒たちの写真について「見えて楽しいし、撮影する技術も高いです」などと講評しました。

練習の成果を披露 劇と遊戯



楽器演奏や遊戯など、練習の成果を披露する園児たち

認定こども園妹背牛保育所の第49回「おさらい会」が12月3日、園内のホールで開かれ、劇や遊戯、楽器演奏の練習を続けてきた園児たちが日ごろの活動の成果を披露しました。

会は、ちゅうりっぷ組の遊戯「やんちゃ怪獣どっかーん！」で幕開け。元気いっぱいいな姿を披露し、ビデオカメラを構える保護者たちを楽しませました。

最後は、たんぽぽ組の器楽と歌の「虹の彼方に 生きてこそ」で締めくくりました。